

九州大学経営協議会議事録

日 時：平成20年9月25日（木）15：30～17：00

場 所：九州大学 事務局第一会議室

出席者：（略）

【紹介】

梶山総長から、7月1日付けで就任した八尾坂委員の紹介があり、次いで、9月11日付けで藤井龍子委員が最高裁判所判事に任命されたため、本協議会委員を辞任された旨の報告があった。

【前回議事録の確認】

梶山総長から、前回6月23日開催の議事録について確認があり、今後、ホームページへ掲載し、学内外へ公表する旨の発言があった。

【報告】

1 次期役員等について

有川理事から、10月1日からの理事、副学長、監事及び総長特別補佐の紹介があった。

2 給与の支給基準の検討について

上田総務部次長から、本年の人事院勧告の概要について報告があり、今後、給与の支給基準の改定等について、これらも踏まえつつ検討を行う旨の報告があった。

3 平成21年度概算要求について

柴田理事、佐藤財務企画課長及び栗木施設企画課長から、文部科学省から財務省に提出された平成21年度概算要求について、報告があった。

これに対し、各委員から以下のような意見等があった。

- ・留学生30万人計画への対応は重要。生活面での支援や就職支援も含め、しっかり取り組むことが重要。
- ・特に、生活面での支援については自治体の協力も必要。国際化拠点の整備等も視野に入れつつ、連携を図ることが必要。

【議題】

1 諸手当の一部見直し（案）について

上田総務部次長から、諸手当の一部見直しに係る改定案を実施することについて説明があり、審議の結果、これを了承した。

2 役員の退職手当に係る業績評価（案）について

上田総務部次長から、役員の退職手当に係る業績評価（案）について説明があり、審議の結果、これを了承し、業績勘案率については次回の経営協議会において審議することとされた。

【討 議】

1 今後の取り組みについて

梶山総長から、在任期間中の各種データ等について説明があった。

これに対し、各委員から以下のような意見等があった。

- ・一層のグローバルCOEの獲得が必要。
- ・国際化に向け、アフリカ、中東及び中南米との学術交流に力を入れるべき。また、優れた留学生の獲得に向け、ダブル・ディグリーの活用にも取り組むべき。
- ・留学生の受け入れだけでなく、本学学生の海外留学にも取り組むべき。

【挨拶】

梶山総長から、現執行部を代表して、退任の挨拶があった。

(以 上)